

審議会会議録

審議会等の名称	第1回 瑞穂市総合計画等評価審議会
開催日時	令和元年7月18日(木曜日) 午後6時00分から8時40分
開催場所	総合センター 5階 第4会議室
議題	「瑞穂市第2次総合計画」にもとづく事業評価(平成30年度実施分)について
出席委員 欠席委員	<p>出席委員 12名 曾我部雄樹会長、渡邊昭博副会長、相原克己委員、大池義之委員、加木屋加緒里委員、河合一恵委員、川瀬利廣委員、草野貴光委員、小森和久委員、林聖文委員、森川晃委員、吉田明貴子委員</p> <p>欠席委員 2名 梶浦良子委員、吉田敏之委員</p>
公開・非公開の区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	1人
審議の概要	<p>開 会 【事務局】 委員総数14名に対し過半数を超える12名の出席があり、瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に基づき会議が成立していることを宣言した。 本会議について瑞穂市審議会等の設置、運営等に関する要綱第11条により原則公開すること、また第12条により当該審議会の傍聴を希望する者に傍聴を認めることを各委員に確認し了承を得た。</p> <p>委嘱状交付 【市長、事務局】 出席の12名に委嘱状を交付した。</p> <p>市長あいさつ</p> <p>委員自己紹介</p>

瑞穂市総合計画等評価審議会について

【事務局】

資料 1 を用い、瑞穂市第 2 次総合計画、及び本審議会の概要について説明を行った。

会長・副会長の選任

委員による互選の結果、曾我部委員を会長、渡邊委員を副会長に選任した。

諮問

【市長】

「瑞穂市第 2 次総合計画」にもとづく事業評価（平成 30 年度実施分）について、及び「瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にもとづく事業評価（平成 30 年度実施分）について諮問した。

議事「瑞穂市第 2 次総合計画」の平成 30 年度実績の評価について

【曾我部会長】

事務局に対し評価方法について説明を求めた。

【事務局】

資料 1 及び資料 2 を用い、評価方法について説明を行った。

【曾我部会長】

平成 30 年度に実施した事業について順に担当課に説明を求めた。

「健（検）診体制の充実と医療費適正化の推進」について

【曾我部会長】

「健（検）診体制の充実と医療費適正化の推進」について担当課に説明を求めた。

【健康推進課】

資料 2 を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【G 委員】

若年層の健康診査受診者数が減少傾向にあるが、こ

の点をどのようにとらえているか。
若年者のターゲットをどう絞って進めているか。

【健康推進課】

受診者数は平成28年度から20歳代を加え、同年度1,138人が受診した。それ以降、節目の年齢時に対象者へ検診票と案内を送付したりしているが、伸び悩んでいる。一度受診された方が翌年度も受診するよう連続受診を第一ターゲットとし、継続受診の体制をつくるため、結果の返し方や説明の仕方に重点を置いている。また、初年度の20歳を第二ターゲットとし、成人式の際の検診アピールやグッドライフ検診啓発グッズを配布している。

【M委員】

事業が医療費適正化の推進にどのようにして繋がっているか。またどのように評価しているか。

【健康推進課】

各個人でできる生活習慣病予防が医療費適正化に関する基礎の部分だと思っている。セミナーを行った際、肥満と生活習慣病が繋がるという意識を持った受講者が少ない。血圧測定や体重のコントロールをしたり、1年に1度の検査結果を見ながら生活習慣病のリスクが高まっているかどうかを知ることが、医療費の適正化につながっていくと思っている。現在は、正確に数字を出して評価をしていないが、将来的には、レセプトや医療費をつなぎ合わせたデータを出さないといけないが、現状では難しい。今後、セミナーに来たかたが医療費削減につながるような活動はしていくつもりである。

【K委員】

特定健診に比べて good ライフ検診の受診率が低いということだが、啓発活動等について過去のことも含めて教えていただきたい。

【健康推進課】

成人式の時に案内チラシを配布している。また、乳幼児健診に来る母親あてに案内チラシを渡したり、保健センター等で受診勧奨する掲示物を作成したり、医療機関等に協力をいただいたり、広報紙への掲載をしたりしている。

【曾我部会長】

「健(検)診体制の充実と医療費適正化の推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった10票、有効とは言えない2票

「目標達成に有効であった」にて決する。

「安全・安心な学校づくりの推進」について

【曾我部会長】

「安全・安心な学校づくりの推進」について担当課に説明を求めた。

【学校教育課】

資料 2 を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【G 委員】

集団アンケートに結構予算がかかっているが、業者委託での予算額か。また、アンケートの評価は第三者が関与した評価か。内部評価の場合、内部の問題が表に出にくくなるのでは。

【学校教育課】

集団アンケート（Q-Uアンケート）の実施、分析、分析後の学校への送付までが委託内容である。また、評価は学級担任の意識調査なので、第三者の評価は入っていない。

【B 委員】

アンケート結果は公表されないのか。実績として、いじめが『あった』『なかった』の評価は。

【学校教育課】

直接このアンケートによっていじめの有無が判定されるものではない。この子は少し満足度が低いとか、不登校になる可能性があるとか、いじめ被害を受けている可能性があるかもしれない等のことはわかるが、児童生徒がいじめを受けている、ということが出てくるものではない。

【F 委員】

特別支援教育コーディネーターや教育相談担当者研修のなかに「研修に対する評価」とあるが誰が評価したもののか。

【学校教育課】

受講した教員の自己評価である。

【 F 委員 】

実施計画上、特別支援教育コーディネーターや教育相談担当者研修の予算は0円であるが、これはソフト面だけの計上という解釈でよいか。

【 学校教育課 】

課内に、特別支援教育の指導主事と教育相談の指導主事がいる。これらの職員は学校教員であり、「割愛派遣」という形で市の職員になっている。その者が直接講師となって指導をする。また特別支援教育については、これを専門とする主幹教諭を市内に1人配置しており、この者が講師になり研修を進めているため、講師料等は必要がなく予算は0円となっている。

【 F 委員 】

一般の教員に特別支援等の教育は必要か。

【 学校教育課 】

必要である。特別支援教育コーディネーターや教育相談の担当者は、それぞれの学校に戻り、その学校でリーダーとなって研修等を進めていく立場になる。これにより、それぞれの学校において特別支援教育の研修や教育相談についての研修を進めている。

【 J 委員 】

「学級集団アンケートの実施」で『できたと回答した学級数』とあるが、これは子供たち自身の評価か。生徒自身が『自分たちが変わった』という評価も含まれているか。それとも先生たちが『できた』という評価のものか。また、アンケート後どのように活用し、『誰ができた・できていない』とかというものを評価しているのか。

【 学校教育課 】

学級集団アンケートは、生徒が回答したものを業者が分析する。評価は、その学級を担当する教師の評価である。分析結果を、どう解釈しどう役立てるかということについて、教員を集め、分析方法についての研修を講師を招いて行っている。それを受け、教師が分析結果をふまえてどのように実践をしていくかを各校で考えていく。

【 曾我部会長 】

「安全・安心な学校づくりの推進」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった8票、有効とは言えない4票
「目標達成に有効であった」にて決する。

「教職員の指導力向上の取組の充実」について

【曾我部会長】

「教職員の指導力向上の取組の充実」について担当課に説明を求めた。

【学校教育課】

資料2を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【L委員】

教員研修は、何日ぐらいかけ、どんな内容のことを誰が教えているのか。また、研修の対象者を、全員から希望者に変更し受講者数が減っているが、研修に参加しなかった先生の教育や指導の仕方をどう考えているのか。

【学校教育課】

市の教育委員会の指導主事や教育支援センターの研修担当（校長経験者）らが講師となり指導をしている。研修により回数は違うが、おおよそ3回から4回行われる。以前、県は悉皆研修（対象者すべてを集めて研修）を進めていたが、近年は2、3年目教員研修や4、5年目教員研修を希望研修としている。研修機会は、県教委が行うもの、市の教育支援センターが行うもの、市外では、岐阜市の教育研究所や羽島市の教育支援センターが開催するものもある。市内での研修受講者数は減っているが、市外での研修受講者数は増えている。瑞穂市の学校は非常に若手が多い。それゆえに、各学校においてOJTや教員に力をつける研修は充分に行っていると考えている。

【A委員】

若手研修で、経験年数が経過するにつれ点数が低くなっている。若手と4、5年目では研修のレベルに問題があるのでは。『慣れ』とかもあるのでは。研修の中身について若手と4、5年目の差はどのようになっているか。

【学校教育課】

初任者や直採講師は『教師としての基本』が研修の

中心になる。対して、経験年数が多くなればなるほど負荷の高い研修になる。4、5年目の教員は、ある程度の実践ができるなかで、実践論文（実践の記録）の作成を課題としている。経験年数が多くなればなるほど、自分を見られる目が非常に厳しくなる。それゆえに指導力の向上という面で、自分で自分を厳しく判断しているということが考えられる。

【G 委員】

小学校英語指導力の研修を委託している説明があったが、事業費が0円になっている。英語指導は非常に重要な項目だが、事業費0円で指導力を養っているのか。

【学校教育課】

今年度から一部のALTを業者委託し、研修を受けた優秀なALTに来てもらっている。来年はさらにそのALTを増員する予定。英語研修についてもノウハウを持っており、ALTの派遣事業の中に英語の研修についても盛り込んでいるため、研修の事業費としては0円で示した。

【D 委員】

瑞穂市の小・中学校の講師率はどれぐらいか。その講師にもアンケートや研修を行っているのか。また、働き方改革の中で『研修を積極的に受けられない』との声も聞こえるが実態はいかがか。

【学校教育課】

産休や育休に入る教員の補充のためや、その他様々な理由から欠員を補充するため講師を配置する。瑞穂市は非常に若い教員が多く産育休に入られる方も多いため、講師の数は多い。産育休については補充の講師は20ほど、欠員補充の講師を含めると今年度初めで30強の講師がいる。（若手を含め）講師についても研修を受けることになっている。それぞれの学校で教員に力をつけるということに瑞穂市の学校は力を入れており、講師も、正規の教員も研修を進めているところ。働き方改革を考慮し、教育支援センターで行う研修については、すべて勤務時間内に設定している。子供たちが下校してから勤務時間内に終わるようにしている。

【曾我部会長】

「教職員の指導力向上の取組の充実」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった11票、有効とは言えない1票

「目標達成に有効であった」にて決する。

「地域資源のブランド創出・魅力向上」について

【曾我部会長】

「地域資源のブランド創出・魅力向上」について担当課に説明を求めた。

【総合政策課・商工農政観光課】

資料 2 を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【G 委員】

瑞穂市に来て何があるのか、対外的に見て何があるのか、これが瑞穂市のブランドだ、シンボルだというものがない。昨年度、一般のマスコミに何が取り上げられたのか、対外的に宣伝になったのは何なのか、あれば教えてほしい。また、富有柿や中山道について様々なPRをしたと書かれているが、これが移住や定住につながる地域資源のブランド化になっているのか。様々な事業をやっているが、このことをどう評価をしているか。

【総合政策課】

瑞穂市在住の世界的ダンサーのKARINさんが、穂積小学校の運動会で披露するストリートダンスを全校生徒に教えている、という記事がマスコミに取り上げられた。また、PRバッグやPR動画は、岐阜県の広報協会を經由し全国広報コンクールに出品された。全国の各市町村の広報担当者や魅力発信担当者は、おそらく瑞穂市のバッグやPR動画に興味を示してくれていると思う。評価については、PRがどの程度浸透したのか、どれだけ移住定住につながったか、というのはどう数値化していいか悩んでいる。

【商工農政観光課】

美江寺宿場祭りは、中日新聞や岐阜新聞の地域面で取り上げられた。小簾紅園のデジタルサイネージも新聞掲載された。また、G（ギフ）メンという県内の市町村で1人ずつ、それぞれの自治体をPRする職員がいる。この者が新聞で定期的な記事掲載や、ラジオ出演によりPRする場を持っている。新聞を読む際は、気にしていただきご覧いただければ。さ

らに昨年度、市の特産品ガイドと市の観光マップを更新した。それぞれおよそ2,000部ずつ制作し、昨年度中に全て在庫がなくなった。今年度5,000部増刷する予定。

【G 委員】

ダンスを全国的にアピールして参加者を募る、という戦略や方向性をもって瑞穂市からダンスを発信していくことが必要では。瑞穂市から全国に展開していく、というものを作らないといけないと思うがいが。

【総合政策課】

PR動画を活かしつつ今後につなげる展開を考えている。まずは小学校の運動会で全校児童がストリートダンスを踊る。その後、瑞穂大学という生涯学習課の機関でシニアでも踊れるストリートダンスを展開し、若い世代からシニア層まで幅広い年代でストリートダンスと一緒に踊ることができるようにする。さらには、来年岐阜県で開催のねんりんピックで1,000人ダンスをすることを目標としている。KARINさんを筆頭に、ダンスが瑞穂市のブランドになることを期待している。

【F 委員】

瑞穂市は観光資源の乏しいところ。一生懸命やろうという気持ちは分かるが、このプロモーションバッグのデザインでは瑞穂市のイメージは湧かない。中山道や美江寺宿など、せっかく知名度がありながらみんなに知らされていない。瑞穂市の観光資源がありながら、県観光課の毎年の「観光入込客数実態調査報告書」に合併時から挙がっていない状況である。速やかに県と協議して手続きを終えられたい。今後、他の市町村と連携して広域的なつながりを持たれば、瑞穂市への観光客がさらに増えるのではないか。今後瑞穂市の「魅力ある観光地づくり」にもっと努力してもらいたい。

【曾我部会長】

「地域資源のブランド創出・魅力向上」について委員に評価結果の挙手を求めた。

→有効であった9票、有効とは言えない3票
「目標達成に有効であった」にて決する。

「総合計画の進行管理」について

【曾我部会長】

「総合計画の進行管理」について担当課に説明を求めた。

【総合政策課】

資料2を用い実施した事業について説明を行った。

【曾我部会長】

担当課の説明について、各委員に対し質問・意見を求めた。

【G委員】

事業費が昨年度に比べ上がっている理由は。

【総合政策課】

新たな地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画を作るための委託費のため。

【M委員】

本年度の予算の多くがアンケートに費やされているが、このアンケート結果が進捗管理に対してどのような影響を与えているか。

【総合政策課】

アンケートは6つの項目があり、そのうち5つの項目については特定の事業の評価をするため結果を集約して数値化している。残りの1項目は自由筆記にて『市への愛着』について問うもの。今後の事業に参考となる市民の声が届いており、全ての課で共有している。

【F委員】

市民が何を求めているか、市民に何が必要かを考えてほしい。一貫して、やらないといけない事業を評価していかなければならないと思うがいかが。

【総合政策課長】

各担当の部署で色々な計画に関する様々なアンケートをとっている。このうち当課では総合計画、総合戦略に関するアンケートを定期的に行っている。

【M委員】

この審議会で『有効であった（目標達成した）』と判断されたとしても、年度を重ねると評価が変わる可能性もあるかと。これらの数字が後退していくという可能性もあるのか。

【総合政策課】

実施計画（２年のローリング計画）を重ねていくなかで、起こりうること。

【Ｃ委員】

特色ある瑞穂の農業の促進において、PRサイトの構築とか瑞穂ブランドの創出事業とか、状況はいかが。

【総合政策課】

担当でないため、すべてを把握しておらず、コメントし兼ねる。

【Ｄ委員】

市への愛着に関するコメントで、プラス面で瑞穂市の魅力を感じている市民の声を大きくしていくべき。プラスをプラスにする。そうするとマイナスもプラスになっていくと思う。市民が瑞穂市にすごく魅力を持っている部分があれば聞かせてほしい。

【総合政策課】

穂積駅もあり、交通至便のまちという評価はとても高い。また、豊かな自然もあり大型スーパーもある、バランスのとれたコンパクトシティということについての良い評価が多数ある。

【Ｅ委員】

昨年度発言した内容を早速実行に移してくれた事業がある。総合計画の進行に関して、審議会で見聞することの価値を実感した。

元々瑞穂市の出身ではないがここに住んだ方は、きつとなにか魅力があったからこのまちに住んだ方が大半だろう。その部分を大切にくみとっていただきたい。子どもたちにアンケートをとると「まちに魅力がない」と多くの子が答える。その子供たちが自分のまちに対して積極的にいろんな意見を出している。子供たちは、このまちにとっても期待をしているし、魅力を感じて一生懸命色んなことを考えてくれている。ぜひ子供たちと一緒に前向きに頑張ってもらいたい。

【総合政策課】

県外の方から見ると、岐阜県と言えば高山地方を連想すると思う。瑞穂市＝富有柿発祥の地、こればかりではなく「ちょっと気になる」瑞穂市を、様々な視点から見いだせればと考える。

	<p>【曾我部会長】 「総合計画の進行管理」について委員に評価結果の挙手を求めた。</p> <p>→有効であった12票、有効とは言えない0票 「目標達成に有効であった」にて決する。</p> <p>その他議事等 次回会議を令和元年7月30日（火）18時より総合センター第4会議室で実施することとした。</p> <p>閉会</p>
<p>事務局 （担当課）</p>	<p>瑞穂市 企画部 総合政策課 TEL：058-327-4128 FAX：058-327-4103 e-mail：sougou@city.mizuho.lg.jp</p>